



名古屋東海ワイズメンズクラブ

会長主題 「ワンチーム」

国際会長主題 「世界とともにワイズメン」 キム サンチェ (韓国)
 アジア太平洋地域会長主題 「100年を超えて変革しよう」 大野 勉 (神戸ポート)
 西日本区理事主題 「未来への挑戦」 新山 兼司 (京都トップス)
 中部部長主題 「楽しくやろう ワイズの活動 地域とYMCAと共に」 渡辺 真悟 (名古屋)
 名古屋東海クラブ標語 『限りなき熱情を奉仕に』

——— 今月の聖句 ———

わたしにつながっていないさい。わたしもあなたがたにつながっている。ぶどうの枝が、木につながって
 いなければ、自分では実を結ぶことができないように、あなたがたも、わたしにつながって
 いなければ、実を結ぶことができない。わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわた
 しにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。わたしを離
 れては、あなたがたは何もできないからである。 (ヨハネによる福音書 15章4節～5節)

強調月間 Kick-off PR

7月例会等ご案内

◎7月第1例会 (クラブ総会)

日程：7月11日 (日) 14:00～17:00

会場：名古屋YMCA

集合：14:00

開会宣言：太田全哉会長

五つの信条：鷺尾文夫君

開会祈祷：八木武志君

2020-2021 活動報告・決算

会長引継ぎ

2021-2022 活動計画・予算

諸連絡

閉会宣言・点鐘：山田英次新会長

◎7月第2例会

日程：7月15日 (木) 19:00～

会場：名古屋YMCA

◎2021-2022中部部会

『楽しくやろう 大自然の中で
 YMCAと共に』

日程：9月11日 (土)

13:00～16:00

会場：日和田高原キャンプ場

登録費：6,000円

東海ワイズ五つの信条

- 一、自分を愛するように隣人を愛そう
- 二、青少年のためにYMCAにつくそう
- 三、世界的視野を持って国際親善を図ろう
- 四、義務を果たしてこそ 権利が生じることを悟ろう
- 五、会合には出席第一 社会には奉仕第一を旨としよう

【出席率】 6月末一在籍者20名
 (内広義会員2名)

出席者 15名 (Make up 0名)

出席率 83.3%

【特別ファンド】

6月ファンド 13,640円

未計上分 8,008円

合計 1,452,634円 (前年度繰越金)

6月第1例会報告

『コロナ禍での挑戦

刈谷保育所開所に向けて』

今回の講師は大阪YMCAから名古屋YMCAに来られたスタッフ橋本啓（けい）氏。自己紹介を兼ねて大阪YMCAでの経験をお聞きした。



中でも阿南キャンプ（YMCA阿南国際海洋センター）での経験が印象的でした。阿南キャンプは5万坪、350名収容の海洋キャンプ場でヨット・カヌー・カッター・カヤック・ボードセーリングなどのプログラムと非日常の生活を通して子どもたちの生きる力を育むことを目指して活動しています。



自然の中で遊ぶことは楽しいが、その力の前には人間の力はむなしい。だから自然を学び知恵を身につける必要があるのではないと思いました。

人の命を預かる仕事は一瞬たりとも気が抜けま

せん。無事に親元に返すのが当たり前で、その上、思い出という貴重な良い体験をお土産に持たせるのがまた当たり前という大変なお仕事にですが、お話ぶりではそれをも楽しんでおられたのではないかと推察しました。



さて、全国のYMCAでは各所で保育園・こども園・幼稚園等の施設は92箇所あり、約6千人の乳児・幼児が通園している。名古屋YMCAの刈谷保育所は0歳から年長児まで収容定員135名で、来年春の開所に向けて準備中。刈谷駅から1km、すでに活動の拠点を置いているウオーターパレスKCから0.8kmという所に位置し、元市立幼稚園の跡地に木造平屋建てで建てられる。保育士の確保が最も重要な課題と思われるが、ウオーターパレスKCとも上手に連携されると面白い保育所になるのではないかと思います。また名古屋YMCAの新たな拠点となることも期待したいと思います。（松本）

【出席者】浅野、池野、大島、太田、木村、柴田、鈴木孝、谷口、中江、長谷川、松本、八木、山田、山村、鷺尾

お知らせ

不要になった過去のロースターを回収します。7月・8月の例会にお持ちください。ロースターは個人情報満載ですので、取り扱いには慎重にせねばなりませんので、クラブでまとめて製造元に送り処分してもらいます。

6月第2例会報告

1. 7月第1例会について

日時：7月11日（土）14時～17時

会場：名古屋YMCA（池下本館）

第54回総会として行う当日のプログラムを確認し、一般会計・特別会計の資料も含み資料の作成印刷は松本書記が行うこととした。

2. 7月第2例会について

日時：7月15日（木）19時～

会場：名古屋YMCA（池下本館）を確認。

3. 名古屋YMCA市内中学生バスケットボール大会支援について

今年度はトーナメント形式ではなく、交流戦形式で各校一試合のみ行うなど、大会に関係している長谷川君より説明があり、延べ13会場に配置する消毒薬購入に必要な資金を東海クラブより支援することを承認し、当面5万円を予定することとした。

4. 太田会長が西日本区大会にZOOM参加しました。画面がすぐ切り替わったり、音声が届かなかったりしたようです。それで5000円はちょっと？と筆者は思いました。



5. 名古屋YMCA創立120周年、刈谷保育園開設などへの支援については、今後協議を進めることとした。

6. 2020-2021 第4回中部評議会報告

①次次期中部部長は山内ミハル氏（金沢クラブ）に決定。但し、キャピネットは他クラブも含み編成する。

②西日本区理事及び理事スタッフ等支援基金

（ワイズリノベーション基金）設立について設立を承認。中部メンバー1名につき3,000円/年を3年間＝9,000円を支援拠出する。

資金管理委員会を置き管理する。委員長は早川政人氏（名古屋グランパスクラブ）、委員は服部庄三氏（名古屋グランパスクラブ）及び該当期間の中部会計とする。

③今年度中部会計より前項②の基金に50万円を拠出することを承認した。（松本）

【出席者】浅野、太田、柴田、谷口、中江、長谷川、松本、八木、山田、山村、鷺尾

2021-2022 中部役員

部 長：渡辺真悟（名古屋）

書 記：川本龍資（名古屋）

会 計：戸田真二（名古屋）

事務局長：谷川修（名古屋）

監 事：小林滋記（南山）

次期部長：山内ミハル（金沢）

直前部長：早川政人（グランパス）

直前監事：柴田洋治郎（東海）

事業主査

Yサ・ユース：坂口功祐（グランパス）

地域奉仕・環境：清水淳（富山）

EMC：太田全哉（東海）

国際・交流：平野実郎（名古屋）

メネット：数澤淑子（金沢）

広報：荒川恭次（グランパス）

クラブ会長

金沢：山内ミハル 名古屋：平野実郎

名古屋東海：山田英次 名古屋南山：荒川文門

名古屋グランパス：服部庄三

富山：清水淳

常置委員会

情報委員会委員長：荒川恭次（グランパス）

ワイズ起こし委員長：柴田洋治郎（東海）

野間若松の「海の家」と 日和田キャンプ場

八木武志

名古屋テレビの「うどちゃんの旅してゴメン」で知多の美浜町野間の旅の番組があり、名古屋YMCAの海の家があったことを懐かしく思いました。そして6月の例会の卓話で名古屋YMCAスタッフの橋本啓氏のお話の中で大阪YMCA阿南キャンプ場（海のキャンプ場）について触れられた。1983年に名古屋YMCAは日和田高原にキャンプ場を開設したが、この野間若松の海の家を処分して購入したものだといわれている。この海の家は当時の会員から親しまれていたもので閉鎖を惜しむ声も多かった。私も少年部時代や青年成人部のグループの仲間と時々この海の家を利用した。ディレクターとして笠井康助主事（元東海クラブメンバー）も担当し、「カリさん」と親しまれていた。

ばよかったと反省したものです。とても貴重な苦い経験でした。

【名古屋YMCA100年史より】

若松海の家もう一つの話

増田健三総主事はキャンプ指導の我が国で草分け的存在です。そしてボーイスカウト運動にも深い理解を有しておられたので、早くから若松海岸の松林でキャンプを実施していた。それが縁となり1929年（昭和4）岡本桜の提唱で名古屋YMCAの会員や後援者が共同して避暑地として購入したのが始まりです。地元でこの話を推めたのが夏目三郎治（YMCA理事長）でした。

当時、地元では「キリスト」とか「若松園」と呼ばれ、村人の集まりにも開放されていた。1948年～1949年頃から専ら少年事業のキャンプや海遊びに利用され「キャンプ場」としての役割を担うようになった。

— 故 夏目広太談 —

先月のブリテンで松本さんが日和田キャンプ場の思い出を書かれていましたが、この日和田キャンプ場の開設後、東海クラブもよく野外例会やクラブ総会をここで開催しました。東海クラブが寄贈・植樹した桜の木もまだ数本は残っていると思います。野外例会でシイタケの原木から収穫した生のシイタケを焼いて食べたことも思い出されます。しかし、日和田キャンプ場はやや遠い！！最近東海クラブも高齢化で野外例会をここでやろうと言うには二の足を踏みます。（やっぱり根の上の方が近くていい思い出も多い！）私も日和田のオープニングワークには度々参加していましたが、日程がクラブ総会と重なり、また木曽福島からの路線バスも廃止になり今は全く参加していません。

次期の中部部会が日和田キャンプ場で開催されることになり、久しぶりの日和田が楽しみです。

東海クラブの皆さん、次回中部部会にはこそぞって参加しましょう。



若松海の家・岡本 桜（右上）

この地区も都市化が進んでいて海のキャンプ場としてはあまり規模も環境も適当な場所といえず、名古屋YMCAは閉鎖を決断し、新たなもっと自然豊かなキャンプ場を模索したのもやむを得ないことでした。

私が少年事業のリーダー1年生の時、この海の家で名古屋YMCAが「青い鳥学園」の肢体不自由児を招待してキャンプをしたがリーダー成り立ての私はまだ未熟で障がい児に対してどうしてよいのか判らず、後でああすればよかった、こうすれ